

＜ケンコーマヨネーズ＞ デジタル技術で変革を目指す
経済産業省が定める「DX認定事業者」に認定
～生成AI・RPA・協働ロボットなどを活用し、全社最適を目指す～



ケンコーマヨネーズ株式会社(東京本社:東京都千代田区、代表取締役:炭井孝志、以下「当社」)は、2026年7月1日付で、経済産業省が定めるDX認定制度に基づき、「DX認定事業者」の認定を取得しましたので、お知らせします。

DX認定制度とは、情報処理の促進に関する法律に基づき、デジタルガバナンス・コードの基本的事項に対応し、DX推進の準備が整っていると認められた企業を国が認定する制度です。今回の認定を機に、当社はDX推進に関する方針や体制をより明確にし、具体的な施策をより一層推進するとともに、その取組みを社内外へ積極的に発信してまいります。

※「DX認定制度」について：https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/investment/dx-nintei/dx-nintei.html

※「デジタルガバナンス・コード」について：https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/investment/dgc/dgc.html

当社は、2024年4月に中長期経営計画『KENKO Vision 2035』を策定し、持続的な成長と企業価値の向上に向けた取組みを進めてきました。2026年2月には同計画を見直し、新たなコンセプトとして「Global Food Solution Company」への転換を掲げるとともに、基本戦略の推進を加速するための経営基盤として「IT戦略」を新たに位置付けました。

中長期経営計画の基本戦略である「スマート化」の中で、デジタル技術の活用による業務改革を進め、生成AIやRPAの導入、基幹システムの刷新、生産現場の自動化などを通じて、業務の標準化や生産性向上に取り組んでいます。これらの取組みに加え、「攻めのIT」と「守りのIT」を両輪として、競争優位の創出と経営基盤の強化を推進してまいります。

今後は、データの一元化・活用をさらに推進するなどし、部分最適のDX(デジタルトランスフォーメーション)から全社最適のBX(ビジネストランスフォーメーション)への進化を促し、食に関するお客さまの課題や社会課題の解決を目指します。今回の認定取得を通じて当社のDX推進の社会的認知を高めるとともに、社内でのDX推進に対する意識を高め、個別業務のデジタル化にとどまらない、ビジネスプロセス全体への変革を進めてまいります。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

ケンコーマヨネーズ株式会社 コーポレートコミュニケーション室 広報IR部 広報IR課 Mail: kouho@kenkomayo.co.jp